

○ 利用者別フィードバックでは、利用者の現在の状況およびその推移を確認することができます。

<データ解釈時の注意点>

以下の①～③は、データを解釈する際の注意点です。

- ① 指標の値及びその変化は、必ずしもケアや状態の良し悪しを反映するものではありません。
- ② 利用者の背景や利用目的、対象期間中に実施した取組、利用者毎の状況（入院があった、他のサービスを利用していた等）など、様々な要因が関連します。
- ③ 対象期間中に、利用者にとどのような変化があったか、どのような取組を実施したか等の状況も考慮しながら、本フィードバックの結果を解釈し、事業所におけるサービス改善に向けた検討の材料としてご活用ください。

利用者別フィードバックで示す状態の「変化」について

  は、状態が変化をしていること、 は状態が維持されていることを示しています。

 については良い方向への変化の可能性があります、 については必ずしも良い方向への変化とは言えない可能性があります。

事業所番号	: 9999999999	サービス	: サンプルサービス
集計時点	: 2022年4月	登録分	
事業所名称	: サンプル施設		
利用者番号	: 000010		

■基本情報・食形態等

		3か月前 : 2022/1/4	直近 : 2022/4/5	変化
かかりつけ歯科医		有り	有り	↔
入れ歯の使用		有り	有り	↔
食形態等	経口摂取	有り	有り	→
	食事の形態	2-1_嚥下調整食2-1	2-2_嚥下調整食2-2	↑
	経腸栄養	無し	無し	↔
	静脈栄養	無し	無し	↔

※日付は「スクリーニング、アセスメント、モニタリング」の実施日

※「スクリーニング、アセスメント、モニタリング」の実施日が正しく入力されていない場合、「かかりつけ歯科医」「入れ歯の使用」「食形態等」の各項目を入力されていても、フィードバック票に反映されません。

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

■スクリーニング、アセスメント、モニタリング

実施日		3か月前 : 2022/1/4	直近 : 2022/4/5	変化
記入者（職種）	看護職員	●	—	↔
	歯科衛生士	—	●	↔
	言語聴覚士	—	—	↔
口腔衛生状態	口臭	有り	有り	→
	歯の汚れ	有り	無し	↑
	義歯の汚れ	有り	有り	→
	舌苔	有り	有り	→
口腔機能	食べこぼし	有り	無し	↑
	舌の動きが悪い	有り	無し	↑
	むせ	有り	有り	→
	痰がらみ	有り	有り	→
	口腔乾燥	有り	有り	→
特記事項	歯、義歯、歯周病、口腔粘膜の疾患の可能性	無し	無し	→
	音声・言語機能に関する疾患の可能性	無し	無し	→
	その他	無し	無し	→

【メモ欄】（事業所内で解釈や考えられる要因などについて議論を行った内容を記載する場合にお使いください。）

<食事の形態>

【出典】一般社団法人 日本摂食嚥下リハビリテーション学会「嚥下調整食学会分類2021」

コード		名称	形態
0	j	嚥下訓練食品 0j	均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したゼリー 離水が少なく、スライス状にすくうことが可能なもの
	t	嚥下訓練食品 0t	均質で、付着性・凝集性・かたさに配慮したとろみ水 (原則的には、中間のとろみあるいは濃いとろみ* のどちらかが適している)
1	j	嚥下調整食 1j	均質で、付着性、凝集性、かたさ、 離水に配慮したゼリー・プリン・ムース状のもの
2	1	嚥下調整食 2-1	ピューレ・ペースト・ミキサー食など、均質でなめらかで、べたつかず、 まとまりやすいもの スプーンですくって食べることが可能なもの
	2	嚥下調整食 2-2	ピューレ・ペースト・ミキサー食などで、べたつかず、 まとまりやすいもので不均質なものも含む スプーンですくって食べることが可能なもの
3		嚥下調整食 3	形はあるが、押しつぶしが容易、食塊形成や移送が容易、 咽頭でばらけず嚥下しやすいように配慮されたもの 多量の離水がない
4		嚥下調整食 4	かたさ・ばらけやすさ・貼りつきやすさなどのないもの 箸やスプーンで切れるやわらかさ

*上記 0t の「中間のとろみ・濃いとろみ」については、学会分類 2021 (とろみ) を参照してください。